

一人ひとりの自己理解からはじめるDE&I ～対話と実践のワークショップ研修～

研修内容

LGBTQ+当事者でもある大嶋がリードし、「多様性」というテーマを単なる他者への配慮としてではなく、自分自身のこととして捉え直すことからスタートします。一方的な講義形式にとどまらず、参加者自身が考え、対話し、アウトプットするワークショップによって、自己理解と自己受容の気づきを提供します。

講師

水天一碧株式会社 代表取締役 大嶋 悠生

主催

QO株式会社、水天一碧株式会社

参加可能人数

1セッション300名まで ※応相談

費用

1セッション 3時間 1,000,000円～（税別）

お問合せ

SIL 多様性研修プログラム 事務局 sil.dei.program@q4one.co.jp



講師プロフィール

元なでしこリーグ女子サッカー選手であり、引退後、治療を経てトランスジェンダー男性として戸籍を変更。その後オーストラリアで、DE&Iが日常に根づく社会に触れたことをきっかけに価値観が大きく変化。現在は、水天一碧株式会社を通じて“はざまから世界を見る”をテーマに、企業・自治体・教育機関・各種団体に向けて、研修・講演・監修・執筆・アートプロジェクトなどを通じ、幅広く対話を続けていく。

Session Agenda

「多様性」というテーマを単なる他者への配慮としてではなく、自分自身のこととして捉え直すことからスタートします。

DE&Iの推進には、まず従業員一人ひとりの自己理解や自己受容が不可欠であるという考えのもと、一方的な講義形式にとどまらず、参加者自身が考え、対話し、アウトプットするワークショップ形式で行います。

自分にとって多様性とは？

DE&I/ LGBTQ+/ 性の4要素

マイノリティに関するファクト

自分自身はどんな人か？

FACT FULLNESS Report

Social Issue Lab/ SILが「時代の変遷」「世界との比較」「実社会へのインパクト」といった文脈を踏まえた視点でファクトを捉えることができるよう再編集したレポートから、事実の受け止めや解釈をセッション内で擦り合わせ。



Social
Issue
Lab **SIL**

失
われた30年。ジェンダーギャップ指数、世界118位。幸福度の低迷。
日々流れてくるニュースを見ていると、
私たちの社会は停滞し、あるいは後退しているようにさえ思えます。
しかし、それは事実のすべてでしょうか？
私たちは、人間の脳が陥りやすいネガティブ本能によって、
静かに、しかし確実に起きているポジティブな変化を見逃しているかもしれません。

SILでは、12月10日の人権デーに合わせ、
多様性と人権につわる100のデータを集めました。
ここにあるのは、過度な楽観でも悲觀でもない、客観的なファクトです。
データを踏まえて世界を見渡せば、
日本が直面する深刻な課題(GAP)と同じくらい、
私たちが積み上げてきた希望(HOPE)が見えてくるはず。
社会を知るきっかけとなることを願って、
"FACT FULLNESS by SIL"をお届けします。

導入
**Intro-
duction**

研修実績

企業、自治体、教育機関、各種団体に向けた研修および講演の実績 ※大島個人のもの含む

